



飯田 昌弘 議員(蒼生会)

安全で安心な住みよいまちづくりを目指すインフラ整備について

Q 建設業界、建設関連業界に協力や支援をいただきながら、官民連携して魅力ある安全で安心な住みよいまちづくりに取り組むためには、業界への安定的な事業の供給が必要となる。発注時期の平準化等を含め、官民連携の在り方についてどのように考え、取り組むか伺いたい。

A 都市建設部長

建設業界やその関連業界は、地域のインフラ整備維持の担い手であり、地域社会の安全、安心の確保を担い、また地域雇用の支えになっています。台風第19号の災害時は、応急復旧など迅速な対応をしていただき、市民生活の安全確保を担うなど地域になくはならない存在です。建設業界やその関連業界に年間を通じて仕事量の変動を少なくし、雇用の安定化が図られるよう、早期発注や適正な工期設定、また計画的な設計、積算、他の工事との発注時期の調整などを図り、工事の平準化に努めたいと考えます。

その他の質問

☆高齢者福祉対策と
応について
☆保険者努力支援制
度について



横田 誠 議員(新風)

クリケットタウン佐野
創造プロジェクトについて

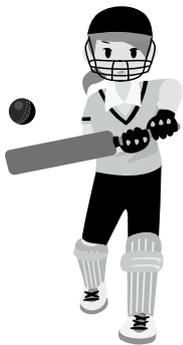
Q 平成28年度から5年の事業期間満了後、佐野市国際クリケット場を起点とした本プロジェクトの展望について見解を伺いたい。

A 市長

地方創生推進交付金を活用しての本事業は、来年度が最終年度となります。交付金事業としての最終年度である令和2年度に、目に見える形でにぎわいづくりや、仕事づくりの成果を上げることにより、交付金事業終了後の令和3年度以降もクリケットをきっかけとしての世界とつながる可能性を持つ国内唯一の自治体として、佐野市への新しい人の流れや、新たな仕事を創出し、佐野市の稼ぐ力を高めることにより、その成果を市民に還元し、町全体が活気にあふれる佐野市づくりに邁進します。

その他の質問

☆災害対策について



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

2度と災害をおこさない
河川の復旧・改修と被災者
支援について

Q 越水しても水の勢いで侵食しない堤防づくり、耐越水堤防工法が有効だとの声が上がっている。今回の改修で県に対し、この工法の導入を求めべきだと考える。秋山川が河川激甚対策特別緊急事業ですすめられることで国の補助が55%から70%にかさ上げされ、15年間の計画が5年間で推進するというが、河川激甚対策特別緊急事業で県がどのように改修しようとしていると聞いているか。

A 都市建設部長

県の秋山川河川については、決壊した2か所の本復旧を、越水に耐えうる工法の一つである※巻堤で行うとのことです。また、河川激甚対策特別緊急事業の位置づけの採択を受け、事業の着手をし、今回決壊した場所を含め、延長で約3kmの区間の河川改修の整備となると聞いています。

その他の質問

☆公立の放課後児童
クラブの14か所の
民営化について
☆多胎児育児の支援
について

※巻堤とは・・・
堤防全体をコンクリート
やアスファルト等で覆う
こと。